

「堺科学教育フェスタ」参加報告

平成26年7月24

産業を支える優れた技術や成果を学ぶことを通して、子どもたちの科学への関心を高めることを狙いとして、堺科学教育フェスタが始めて開催され、日本技術士会近畿本部も教育委員会の推薦もあり、科学体験コーナーのブースにおいて指導講師として担当した。

1、開催日：平成26年7月20日（日） 10:00～17:00

2、開催場所：堺市教育文化センター（ソフィア堺）

3、主催：堺市教育委員会 堺科学教育振興会 後援：大阪府立大学

4、主内容：講演（堺刃物商工協同組合連合会、大阪府立大学）サイエンスマジックショー
プラネタリウム無料投影、協力企業、団体による科学体験コーナー、その他

5、日本技術士会 近畿本部出展内容

- 1) 割り箸を使って橋を作ろう。
- 2) サイコロと確率の実験。
- 3) 蒸気で船を走らせよう。
- 4) 月と日食、月食の実験。

6、当日参加指導技術士、スタッフ（順不同、敬称略）

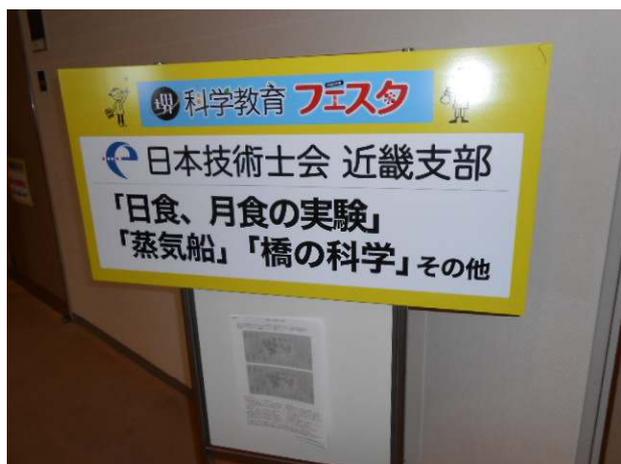
福岡、佐伯（英）、佐伯（真）、藤本、河野、久保田（科学技術支援委員会、他）

7、実施状況等

今回、堺市教育委員会も初めての試みであり、企業の参加で科学教育の実用を主眼に置き、対象を小学校高学年～中学生としたが、実際にはサカイエンスと同様小学校低学年の参加も多く、中学生はほとんど見受けられなかった。入場者は教育委員会の予想（1000名）を大きく超え2500人と大盛況であった。日本技術士会近畿本部のブースも非常に興味深い実験テーマであったため、常に定員を超える状況であり当日参加の指導講師の方々は大変多忙を極めたが、大きな問題もなく進行できた。堺市教育委員会も今回の内容、結果を参考にし、また、例年も開催を予定しており、日本技術士会近畿本部のも引き続き指導協力の依頼があった。今後もできる限り協力する旨は伝えた。

文責 久保田

当日写真



看板



当会ブース入口



割り箸を使って橋を作ろう



割り箸を使って橋を作ろう



サイコロと確率の実験



サイコロと確率の実験



蒸気で船を走らせよう



蒸気で船を走らせよう



月と日食、月食の実験



月と日食、月食の実験